

「週末の過ごし方に気をつけましょう。一人一人が妻ヶ丘の顔ですよ！」

生徒指導通心
第21号

縁(えん)

妻ヶ丘中生徒指導部
令和4年10月21日発行



10月も後半戦。登校の様子を見ると、ほとんどの生徒が合服や冬服の準備を始めているようです。体調管理には十分気をつけて下さいね。

さて今週は、18日(火)に3年生の合唱コンクールが行われました。これで本年度の文化祭・合唱コンクールが全て終了したことになります。合唱コンクールでは、見事3年4組がグランプリを獲得しました。3年4組は、10月27日(木)にMJで行われる「都北音楽大会」に出場します。あとわずかの練習期間だと思いますが、最後の最後まで頑張っ

て欲しいと思います。最後に、ちょっとびっくりの出来事をご紹介します。正門付近に桜の木があることは皆さん知っていますよね。卒業、入学のシーズンになると鮮やかな花が咲き乱れます。しかし！季節は冬に向かおうとしている中、上の矢印にあるように、現在数輪の花が咲いています。数日前にあった全国のニュースでも話題になっていましたが、こんなに身近に見つけることができるとは思っていませんでした。「春に咲くはずの桜が秋に咲く理由」は…。そこは是非皆さんで調べてみて下さい！

週末になります。交通ルール、SNS、公共施設の利用…常に「正しい判断」を心がけ、「被害者にも加害者にもならない」ように生活して下さい。気を引き締めた行動を！

★イチローとデッドボール★

数々の伝説を残したイチロー選手。現在は、シアトルマリナーズの会長付特別補佐兼インストラクターという役職で活躍されています。また、日本の高校球児にもアドバイスを送り、たくさんの人達に刺激を与えています。そんなイチロー選手が現役時代の時の話を紹介します。



元メジャーリーガーのイチロー選手は、デッドボールを受けても絶対に怒った顔を見せなかったそうです。投手を睨みつけたり、痛そうな顔もみせず、淡々と一塁へ走っていきます。

これはピッチャーにとってどういう意味があるのでしょうか。ムツとした顔をされたり、挑発的な態度をされると、ピッチャーはそれだけで自分がボールをぶつけたとの贖罪(しょくざい)をしてしまうということ。

イチロー選手のように、ただ黙々と一塁へと向っていくのを見るのは、ボールをぶつけたピッチャーとして辛いものがあるようです。そのため、同じピッチャーが二度、三度とぶつけることはありません。**怒りを投げつければ怒りが、温かさを投げかければ温かさが返ってきます。**自分もまわりも、嬉しい、楽しい、幸せとを感じるものを投げかけてみてはどうでしょう。

『無敵の生き方』小林正観著/廣済堂出版

「投げかけたもの」は、いつか自分に返ってきます。どうしても、会いたくないと思っている人がいると、逆にその人とたびたび会ったりするものです。「その人のことばかり考え、思っている」という逆説的な引き寄せをしてしまうからです。こういう時には、「この人とは絶対に会いたくない」という考えは捨て、別の誰かに「絶対、会いたい！」と強く思うこと。あるいは、「その人のことをすっかり忘れる」ことでもいいかも知れませんね。

「情けは人の為ならず、
巡り巡って己(おの)がため」

世間的には、前文だけ広く知れ渡っていますが、本来は、「他人への情けは、いずれは巡って自分に返ってくるのものであるから、誰にでも親切にしておいた方が良い」という意味があるそうです。「情けは相手の為だけではなく、自分の為でもある」と覚えておくといいかもしれません。

「いい言葉」や「いい思い」を淡々と投げかけている人の周りには、いつも笑顔があふれているものですね。

